



明治期・横浜で生まれた^{ま ぐ ず}眞葛焼の文化を振り返る 市民講座を開催

横浜市立大学学術情報センターは、12月1日（土）に『横浜維新 ～明治文明開化の礎となった横浜の歴史～』と題した市民講座を開催します。

「明治150年」記念事業として、明治期に横浜で花開いた「眞葛焼」の誕生、横浜から輸出され、世界中の人に称賛された栄華や、横浜大空襲で壊滅的な被害を受け、その歴史が閉じるまでを宮川香山眞葛ミュージアム館長の山本博士氏に講演いただきます。

眞葛焼は、1871年（明治4年）に現在の横浜市南区に築かれた窯で輸出向けの陶磁器として製造され、彫刻的な立体による装飾、高浮彫が特徴の焼物。1876年フィラデルフィア万国博覧会で絶賛され、海外の博物館・美術館にも所蔵されています。輸出され、海外での評価が高いものの、戦争で途絶え、国内に残っている作品が少ないが故に、「幻のやきもの」と言われています。

当日は、特別講演のほか在学生や司書による開港期に描かれた貴重資料の紹介、眞葛ミュージアム見学などもあり、眞葛焼を目で楽しむことができます。

市民講座 概要

日 時 2018年12月1日（土）13:00～16:00（12:30開場）

会 場 崎陽軒本店 6階会議室（横浜駅東口そば）

（横浜市西区高島2丁目12番6号）

特別講演 「横浜が誇る“幻のやきもの” 宮川香山の眞葛焼」

山本 博士 氏（宮川香山眞葛ミュージアム館長）

内 容 ・特別講演（80分）

・本学司書による貴重資料「環海航路絵巻」の紹介（15分）

・日本文化ゼミ学生による開港期に描かれた貴重資料の紹介（10分）

・徒歩にて移動後 宮川香山眞葛ミュージアム見学（希望者のみ、50分）（横浜市神奈川区栄町6-1）

定 員 先着50人 事前申込制

申込み先 横浜市立大学学術情報センター

申込み受付開始日 11月1日（木）

横浜市立大学 学術情報センターWeb サイト

<https://opac.yokohama-cu.ac.jp/drupal/>

(1)



(2)



(3)



宮川香山の眞葛焼 3点

(1)葡萄鼠細工花瓶 (2)鷹ガ巢細工花瓶

(3)琅玕釉蟹付花瓶

※当日取材が可能です。ご希望の方は事前に以下までご連絡ください。

お問い合わせ先

学術情報課長 河西 徹 Tel:045-787-2071